ウ**ェルビーイング学会誌 投稿チェックリスト**

投稿時に、以下の質問文に《はい》と答えられたら □に✔を記入して、投稿要領を遵守した投稿になっているかをご確認ください。チェック漏れや不備が認められた場合、受け付けできず（新規投稿／修正再提出とも）、審査の着手が大幅に遅れる可能性があります。

**1. 投稿する原稿について**

☐ 未公刊の原稿である。

投稿論文は未公刊のものであり、刊行されたデータを使用している場合、その旨が本文に記載されていますか。

☐ 投稿論文の内容の主たる部分は、同時に他の学術誌に投稿していない。

（また、論文審査中に他の学術誌に投稿することはない）

☐ 著者が特定可能な情報はマスキングされている。

著者の氏名や所属、脚注に推測可能な情報が含まれていないことが必要です。

☐ 執筆者全員の投稿同意はとれている。

著者が連名である場合，共同執筆者全員から投稿の承諾を得ていますか。

☐ 本論文において利益相反がないことを確認済である。

☐ 研究倫理遵守を確認済である。《未承認》の場合は、以下の理由を記入済である。

研究を行うにあたり，所属または関連機関の倫理委員会の承認を得ましたか。

未承認の場合、承認を得なかった理由、またはご自身で実験・調査等の実施が倫理的に問題ないとご判断された理由を下に記述してください。

**2. 論文の形式と長さ**

☐ 投稿規程に則って作成されている。

原稿は、学会指定のフォーマットを使用していますか。

☐ ページ設定が正しいことを確認している。

A4用紙、縦置き、余白（上下20mm、左右18mm）、2段組み（横24字×2列、48行）で作成していますか。

☐ フォントの指定が守られている。

次の指定を遵守していますか。

和文：MS明朝（本文）、MSゴシック（見出し）

英文：Times New Roman、Arial

☐ 論文の長さは規定内である。

表題、要旨、キーワード、本文、引用文献、注、図表を含めて10ページ以内ですか。

**3. 論文情報**

☐ 表題に著者名が適切に記載された上で、マスキングされている。

次のような体裁となっていますか。

和文の場合：和文・英文両方の表題と著者名を記載

英文の場合：英文のみの表題と著者名を記載

☐ 副題が正しい形式で記載されている。

和文：副題の前後に2倍ダッシュ（――）を使用

英文：コロン（:）を使用

☐ 所属機関名が正式名称で記載された上、マスキングされている。

所属機関の学部名や部局名などが入らないようにしていますか。

和文論文の場合：所属機関を和文と英文の両方で記載

英文論文の場合：所属機関を英文のみで記載

☐ 要約及びキーワードの記載は適切である。

記載は適切ですか。

要約の長さ 和文：500字以内 英文：200語以内

キーワードの数　3語以上5語以内

☐ 本文の記述方法は適切である。

・見出しは適切な形式で記載されていますか。

大見出し：中央揃え、番号なし

中見出し：1行空けて左揃え、番号付き（1. 2. 3.）

小見出し：行を空けずに1字空けて記載

・本文内の引用表記は正しいですか。

例：坂田・山野（2010）、Smith & Clark (2016)

・注記は適切に記載されていますか。

・脚注として対応番号を付け、引用文献の前に記載されていますか。

・論文本文（引用文献含む）には、ページ数が記されていますか。

☐ 図表の記載方法は適切である。

・図表の番号とキャプションは適切な位置で記載されていますか。

例：表1　Figure 1

・図表の背景と装飾は正しいですか。

背景は白、装飾はなし

☐ 引用文献リストの形式は適切である。

本文の最後に一括して示し、全ての著者名を記載し、日本語文献と英語文献は分けず、アルファベット順に記載し、指定の書誌情報が書かれていますか。

☐ 特記事項がある場合、その旨を記載している。

研究助成や利益相反についての記載は適切ですか。

☐ 記入フォームに必要事項が記載されている。(当学会誌では、記入フォームへの記載を以て、投稿要領上の添え状の添付とみなしています。)

表題、著者名、所属機関名（和文・英文）、連絡先、投稿区分

☐ 【学会誌概要】、【投稿要領】、【投稿テンプレート】、【査読審査体制】【査読審査ガイドライン】を確認し、必要な項目を確認したうえで論文が作成されている。